

広報

ただみ

2

2025 月号

No. 657

令和7年2月10日



今月の表紙

【只見町消防団出初式】

住民の安心安全な生活を守る只見町消防団の出初式での一枚です。

新年を迎え、改めて気持ちを引き締めました。(関連P 11)

《特集》

青少年健全育成主張大会及び各種表彰 … 2～5

令和6年度「自然首都・只見」

学術調査研究成果発表会 …… 6～8

只見線ポスターフォトコンテスト結果発表 … 9

捨てるを変える、未来が変わる …… 10

《News&flash》 …… 11

《町の話》 …… 12～15



第39回

只見町青少年健全育成主張大会

「将来の夢」

只見小学校6年 ながわ 中川 ほなみ 保菜美

「偏見をなくしたい」

朝日小学校6年 さかい 酒井 りり 莉里

「6年間での学びと気づき」

明和小学校6年 さんべ 三瓶 ゆうひ 結妃

只見町青少年健全育成町民会議と只見町教育委員会の主催で「第39回只見町青少年健全育成主張大会」、「令和6年度只見町教育委員会 芸術文化賞・スポーツ優秀選手表彰彰式」、「第48回只見町民文芸コンクール表彰式」が、1月25日に季の郷湯ら里で行われました。

主張大会は、小学生3人、中学生3人が学校での経験等を基に考えや思いを発表しました。発表者の素晴らしいメッセージに会場からは、大きな拍手が送られました。

なお、芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞及び町民文芸コンクールの受賞者は4～5ページのとおりで。

※当日発表者の方のみご紹介となります。また敬称略とさせていただきます。ご了承ください。

「中学生になった僕」

只見中学校1年 やなとり 梁取 こうたろう 孝太郎

「憧れの存在」

只見中学校2年 よこた 横田 みゆ 心結

「言葉から学んだこと」

只見中学校3年 さいとう 齋藤 ねね 寧々



▲主張大会発表者の皆さん



▲中川保菜美さん



▲酒井莉里さん



▲三瓶結妃さん



▲梁取孝太郎さん



▲横田心結さん



▲齋藤寧々さん



▲只見小の常盤校長が「思いや経験が未来をひらく。発表してくれた皆さんに感謝します」と講評しました



▲発表者を代表して、中川さんが賞状と記念品を受取りました

令和6年度

芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰式



【芸術文化賞】

- ▽徳永悠花(明和小1年) Ⅱ J A 共済福島県小学生書道コンクール／銀賞
- ▽徳永悠乃(明和小3年) Ⅱ 第68回福島県書きぞめ展／書きぞめ賞
- ▽菅家沙月(只見小4年) Ⅱ 福島県小学校理科作品展／奨励賞
- ▽中川保菜美(只見小6年) Ⅱ ① J A 共済福島県小・中学生交通安全ポスターコンクール／審査員特別賞② 令和6年度ふくしまっ子ごはんコンテスト／優良賞
- ▽菅家一晟(只見中1年) Ⅱ アイデア写真コンテスト「はたらくすがた」／佳作
- ▽角田杏(只見中2年) Ⅱ 第28回ボランティア・スピリット・アワード／全国賞
- ▽大東芽生(只見中2年) Ⅱ ① 第73回福島県下中学校英語弁論大会／3位② 令和6年度ふくしまっ子ごはんコンテスト／優良賞
- ▽横田心結(只見中2年) Ⅱ 令和6年度中学生の「税についての作文」／福島県教育長賞
- ▽鈴木雛乃(只見中3年) Ⅱ 「全国中学生人権作品コンテスト」福島県大会／若松協議会子ども人権委員会委員長賞
- ▽青山翔(只見中3年) Ⅱ 奥会津只見線絵画コンテスト／最優秀賞
- ▽酒井右一(一般) Ⅱ 第78回会津総合美術展／会津美術賞会津美術協会賞

【スポーツ優秀選手賞】

- ▽齋藤光希(明和小4年) Ⅱ ① 第43回ジュニアアルペン公式記録会福島県予選大回転U12男子／優勝② シモン旗・ロータリー旗争奪第54回全会津少年剣道大会男子3・4年の部／優勝
- ▽本名美里(朝日小5年) Ⅱ シモン旗・ロータリー旗争奪第54回全会津少年剣道大会女子5・6年の部／優勝
- ▽飯塚雄飛(只見小4年) 齋藤光希(明和小4年) 鈴木楓真(只見小4年) Ⅱ シモン旗・ロータリー旗争奪第54回全会津少年剣道大会団体4年生以下／優勝
- ▽只見ベアーズ Ⅱ 第23回内田清杯東北小学生男子ソフトボール大会／3位
- ▽五十嵐千紘(只見中2年) Ⅱ 令和6年度全会津中学校選抜剣道大会男子個人／優勝
- ▽三瓶叶翔(只見中3年) Ⅱ 第32回福島県ジュニア空手道選手権大会中学3年男子中量級／優勝
- ▽岩佐滯乃(只見中3年) Ⅱ 第43回ジュニアアルペン公式記録会福島県予選大回転U16男子／3位
- ▽只見中学校野球部 Ⅱ 第47回福島県少年野球選手権大会／2位
- ▽目黒咲翔(南会津高校3年) Ⅱ 第69回福島県高等学校スキー大会大回転男子／2位
- ▽目黒夏穂(只見高校1年) Ⅱ 第70回東北高等学校剣道選手権大会 第56回東北高等学校女子剣道選手権大会女子個人／東北ベスト32

第48回只見町民文芸コンクール表彰式



「私の夢」

只見小学校6年
中川 保菜美

【作文部門】

◎小学生下学年の部

- ▽入選／徳永悠花(明和小1年)
- ▽佳作／馬場円香(明和小1年)

◎小学生上学年の部

- ▽佳作／三瓶李市(朝日小5年)

◎中学生の部

- ▽佳作／菅家一晟(只見中1年)、齋藤仁(只見中1年)、伏見英哲(只見中3年)

【詩部門】

◎小学生下学年の部

- ▽特選／三瓶流依(明和小2年)
- ▽入選／矢沢奏穂(明和小2年)、星湊人(明和小2年)

◎小学生上学年の部

- ▽佳作／星樹璃(明和小2年)

◎高校生の部

- ▽入選／目黒真秀(只見高校3年)

【短歌部門】

◎小学生下学年の部

- ▽特選／吉津綾世(朝日小1年)
- ▽入選／角田杏子(明和小3年)、角田智仁(明和小1年)

◎小学生上学年の部

- ▽特選／星瑛陽(明和小5年)
- ▽入選／五十嵐琴音(朝日小6年)、吉津光祥(朝日小5年)

◎中学生の部

- ▽佳作／増田琉気(只見小6年)
- ▽入選／菊地華恋(只見中2年)、渡部悠希(只見中2年)

- ▽佳作／角田杏(只見中2年)、三瓶煌羽(只見中2年)

◎一般の部

- ▽特選／菅家ツヤ(黒谷)
- ▽佳作／齋藤由美子(大倉)、菅家ミヨ子(只見)

【俳句部門】

◎小学生下学年の部

- ▽特選／角田杏子(明和小3年)
- ▽入選／鈴木悠冬(只見小1年)
- ▽佳作／長谷部君歌(只見小3年)、村上稀(只見小3年)、佐藤望音(只見小2年)

◎小学生上学年の部

- ▽特選／五十嵐心愛(朝日小4年)
- ▽入選／鈴木遥真(朝日小5年)
- ▽佳作／渡部結羽(只見小5年)、菅家沙月(只見小4年)

◎中学生の部

- ▽特選／梁取暖(只見中3年)
- ▽入選／星柚子葉(只見中3年)
- ▽佳作／鈴木雛乃(只見中3年)、矢沢博哉(只見中3年)

◎高校生の部

- ▽特選／印南奏詩(只見高校2年)
- ▽入選／酒井麗(只見高校2年)、船木翔空(只見高校1年)
- ▽佳作／武井春樹(只見高校2年)、齋藤恋(只見高校1年)

◎一般の部

- ▽入選／菅家ツヤ(黒谷)
- ▽佳作／齋藤由美子(大倉)

※該当のなかった部門及び賞については記載しておりません。

令和6年度「自然首都・只見」 学術調査研究成果発表会

令和6年度「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会が1月26日に只見公民館で開催され、町の助成を受けて調査研究を行った5グループの研究者がその成果を発表しました。渡部町長は、「本日の発表が、私たちが直面する課題を乗り越え、町の発展や地域の活性化に向けた新たな可能性を切り開くものであることを期待しています」と挨拶されました。町内外から31人の聴講者が集まり、発表後は、活発な質疑応答も行われました。紙谷ブナセンター館長は、「ユネスコエコパークの3つの目標、特に地域振興に関わる発表が充実してきている」と講評しました。以下より各調査研究の概要をご紹介します。



▲ 会場の様子



▲ 講評をする紙谷館長



▲ 開会の挨拶をする渡部町長

「環境DNAを用いた只見町の奥地における魚類多様性評価」

深野 直孝、村上 弘章、野口 慶司、片山 知史（東北大院農）
春本 宜範（アクアマリンふくしま）

調査研究の背景と目的

近年、「環境DNA」という新しい調査手法が使われています。環境DNAとは、水中に存在する生物が放出したDNA（生物の設計図）を採取して分析することで、そこに住む生物を特定する技術です。この方法は、生物を捕まえたり、環境に負荷をかけたりすることなく、多くの情報を得ることができます。昨年度に引き続き、只見町の河川や湖の生態系を守るために、この環境DNAで只見町にどのような魚類がいるかを調べました。

わかったこと

2024年の調査では、田子倉湖と沼ノ平の計13地点で水を採取・分析を行い、合計26種の魚類の存在が確認されました。田子倉湖では主にワカサギやウグイなど17種が確認されました。一部では外来種であるオオクチバスや、移入種と思われる魚も見つかりましたが、漁協による駆除活動の成果もあってか他の魚類を圧倒するほどには生息していないと考えられました。沼ノ平ではアブラハヤやイワナ属の一種など5種の魚が確認されました。山間の閉鎖的な環境のため魚種は少ないものの、人為的な放流によるとみられる移入種も検出されました。

この調査結果は、生態系保全活動や外来種駆除の効果を評価する貴重なデータとなっています。只見町の豊かな自然を次世代に引き継ぐため、これからも継続的な調査とこれ以上移入種を只見の河川に入れないなどの保全活動が必要です。



「只見地域の尾根に分布するキタゴヨウの生育環境と森林構造」

近藤 博史、酒井 暁子（横浜国立大学・大学院・環境情報研究院）

調査研究の背景と目的

只見ユネスコエコパークでは、特徴的な自然景観を形成する「キタゴヨウ」というマツの一種があります。このキタゴヨウは、尾根や急斜面など特定の地形に生育し、特に風当たりが強い場所や痩せた土地に適応して育っています。しかし、キタゴヨウがどのような環境条件で成長し、地域ごとにどのように更新しているのかは、これまで十分に解明されていません。

わかったこと

調査により、標高300～800mの範囲で、北西向きの尾根や急斜面にキタゴヨウが多く分布していることが分かりました。また、調査地ごとに林の構造や木の成長パターンが異なることも確認されました。一部の地域では安定的な更新が見られる一方、他の地域では樹木の更新が停滞し、他の森林タイプに移り変わる可能性が示唆されています。例えば、熊沢山ではキタゴヨウが安定して更新を続けている一方、苧巻岳では成長が停滞し、他の樹種へと移行しつつある兆候が見られました。一方で、只見湖では一斉に更新が行われた跡が見られ、地域ごとの特徴が際立っています。

この研究は、只見地域の自然環境を深く理解し、エコツーリズムの質を高めるための重要な知見を提供しています。今後はより自然度の高い地域でのキタゴヨウ林の状況や野生動物との関係を調べる予定です。



「アカミノアブラチャンの遺伝的特徴と果実色変異」

数間 るび（新潟大学大学院）

調査研究の背景と目的

アブラチャンは緑の果実をつけるクロモジ属の落葉低木ですが、只見では赤い果実をつけるアカミノアブラチャンが発見され、町の天然記念物に指定されています。本研究では、アカミノアブラチャンの遺伝的特徴や果実の発達過程を明らかにすることを目的としました。

わかったこと

唱平（町指定天然記念物）とふるさと館田子脇に生育しているアカミノアブラチャンの果実の色を調べたところ、暗赤色や赤みがかった緑色など、さまざまな果実色を示すことが分かりました。通常のアブラチャンでは平均15%程度の割合で不健全な種子が見られますが、アカミノアブラチャンではその割合が平均42%と高いことが判明しました。しかし、血縁関係の解析から、アカミノアブラチャンの不健全種子の割合の高さは、近親交配が主な原因である可能性は低いと考えられました。また、アカミノアブラチャンの遺伝的な多様性は低い値を示し、集団内に血縁関係のある個体が複数存在していることに起因すると考えられました。さらに、アカミノアブラチャンは、日本海側のアブラチャン集団と同じ遺伝的特徴を持つことが確認されました。

今後は、只見町のアカミノアブラチャンの遺伝的特徴をさらに詳細に調査し、精度の高い結果を示していければと考えています。



「森林の育成過程で発生する間伐材による 只見町内エコシステムの構築と課題」

大橋 慎太郎（新潟大学農学部）、関原 光優（新潟大学農学部）

調査研究の背景と目的

只見町内の民有林は十分に管理・育成されておらず、林業的な利用が進んでいません。現在、只見町では、森林育成で発生する間伐材を薪ステーションで加工し、温泉施設や家庭で熱エネルギーとして活用する取り組みが進行中です。そこで、森林資源を地域内で有効活用するための戦略を検討し、エネルギーの循環利用モデルを模索することを目的として調査研究を行いました。

わかったこと

町内の薪ストーブ利用者への調査の結果、町全体の年間薪利用量は約654.5 m³、燃烧灰の排出量は7500 Lと推定されました。この肥料成分を含む燃烧灰は安全性の確保を前提に多くが農業利用が可能で、有益です。また、薪ボイラー導入予定の温浴施設での排湯温度測定により、安定した熱利用が可能と判明しました。ただし、施設営業後の熱供給方法には課題がありました。

本研究では、只見町における森林育成を前提としたエネルギーと資源の二重循環モデルを提案します。すなわち、間伐材を薪ボイラーや家庭用薪ストーブのエネルギー源として活用し、燃烧灰を農業肥料として再利用することで、地域のエネルギー自給率と農業生産性を向上させる環境にやさしい地域づくりです。こうしたシステムの実現の為に、原料（薪）供給の安定性確保や熱利用の需要を高めていく仕組みづくりが必要と考えます。



「只見の木製民具にみる樹種選択」

鈴木 海都（信州大学大学院 総合理工学研究科）

土本 俊和（信州大学工学部）、井田 秀行（信州大学教育学部）

調査研究の背景と目的

只見町には国指定重要文化財に指定されている民具のほか、指定外の民具が約九千点あり、これらの保存と利活用が課題となっています。

従来の民具研究は、民俗学的手法で地域の生活文化などを明らかにしてきました。本研究では民具に使用されている木材の樹種を特定し、民具の種類による樹種選択の違いやその理由を明らかにすることで、民具から見た樹木利用の伝統的知識を再評価することを目的に実施しました。

わかったこと

2023年度は目視による調査を実施し、2024年度は木片を採取して顕微鏡で木材の構造を観察し、樹種を特定しました。調査した民具は、ジザイカギ、ヨコキネ、タテキネ、コウシキ、ゲンベイガタ、クワガラ、トチムキ、カケヤ、コイダシガキです。調査の結果、各民具には用途に応じて特定の樹種が選ばれていました。例えば、重さや耐久性が求められる餅つきの杵のような道具には摩耗に強いイタヤカエデなどが使われていました。民具に使用された木材は、全て只見町内の森林から調達可能なものであり、地域資源を活用した知恵が伺えました。

これらの結果は、ユネスコエコパークとしての只見における人と自然の関わり方の再評価に貢献するとともに、民具の学校教育などの場で幅広い活用が期待できます。





▲「向日葵の咲く頃」大藪琢也さん

◀「錦秋只見線」高橋和則さん

只見線 フォトコンテスト 最優秀賞 4作品が決定！



只見線
フォトコンテスト
ウェブページ

町が主催する「只見線フォトコンテスト」は昨年9月20日から12月27日に、町の観光PRポスター作成のため、只見町内での只見線に関する写真をテーマに、募集が行われました。

今年1月16日に行われた審査会において、応募総数167点の中から、最優秀賞4点、優秀賞6点、入賞8点、佳作10点が決定しました。

受賞作品については只見線フォトコンテストのウェブページからご覧いただけます。



「白銀の世界を翔ける」師田智さん▲

「初夏の浅草岳」山内久良さん▶



※紙面には最優秀賞受賞作品を掲載しております

捨てるを変える、未来が変わる

今日から始めるゴミ減量

福島県はワースト1位

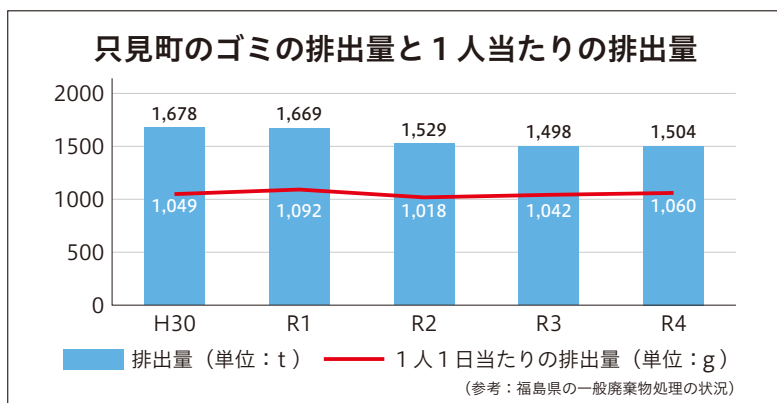
只見町は県内平均よりも多い結果に

福島県のごみ排出量は、1人1日あたり1,021グラムで、全国ワースト1位となっています。只見町のごみ排出量は、1人1日あたり1,060グラムで、県内平均よりも多く排出しています。

平成30年から令和4年までの只見町のごみの排出量は減少しているものの、人口減少が進み、町民1日1人あたりのごみの排出量はほぼ横ばいとなっています。



▲リサイクルを啓発するポスター



家庭ごみ、事業ごみとも、排出されるごみの割合の多くを可燃ごみ(燃えるごみ)が占めており、ごみ焼却コストの増加や

二酸化炭素排出量の増加の原因となっています。

このことから正しいごみの出し方を守りつつ、ごみの減量化にも取り組まなければなりません。

では、具体的にはどのように取り組めば良いのでしょうか。

○資源ごみへの分別

資源ごみ(プラスチック容器、紙容器、紙パック、古紙、ビン、ペットボトル、ダンボール)を分別し、可燃ごみの量を減らしましょう。可燃ごみとして出している書類などの紙類も古紙として出すことで、可燃ごみを減らすことができます。

○使い捨てを減らす

お箸やコップなどは使い捨てタイプのをできるだけ避け、再使用可能なものを使いましょう。また、シャンプーや洗剤、調味料などは詰替え可能なものを選ぶこともごみの減量になります。他にもマイボトルを持ち歩くことも有効です。

このような、人や社会、地域、環境に配慮した消費行動をエシカル消費と言います。

○生ごみの水切りや堆肥化

可燃ごみの中でも、生ごみが占める割合は3〜4割と言われており、生ごみのおよそ8割は水分だと言われています。生ごみは捨てる前に水気を切る、または乾燥させることで大きく減量化することが可能です。ヘタなど調理で使わない部分は、洗う前に切り落とすなど、濡らさない工夫も大切です。また、生ごみを肥料化(コンポスト)することも有効です。

○地球環境を守る

ごみの量が少なくなれば、焼却コストや処理施設の維持管理コストなどの削減につながります。また、ごみの分別などで資源を守ることや、可燃ごみの焼却量を減らし二酸化炭素排出量も減らすことは、環境保護に繋がります。

できることから始めましょう。



迎春を喜び、祝う

令和7年
「只見町新年交歓会」開催

令和7年「只見町新年交歓会」が1月7日に季の郷湯ら里で開かれました。

渡部町長、佐藤町議会議長の年頭のあいさつに続き、来賓の皆様からの祝辞が述べられました。その後、合同会社モデルリーフの代表社員の酒井治子氏を講師に「只見線再開（再会）とこれから」のテーマで特別講演が行われました。

講演後は、只見松楓会による祝謡が披露された後、有限会社さんべ農園の代表取締役三瓶陽太氏の乾杯の音頭で、参加者は迎春を祝いました。



▲酒井氏から只見線全線運転再開に向けた様々な人の取り組みや只見線を活用した今後のまちづくりについて伝えられました

只見町の1年間の無災害を祈念

「只見町消防団出初式」

「只見町消防団出初式」が、1月11日に朝日振興センターで開かれました。

式では、町の無火災無災害祈願や危険を伴う現場で活動する消防団員などの安全祈願が行われました。

また渡部町長の訓示に続き、目黒消防団長から「昨年も只見町は大きい災害がなかったものの、いつ起きるか分からない。消防団としても検閲や訓練等を行い有事に備えたい」と訓示が述べられた他、関係機関への感謝や引き続きの協力をお願いが伝えられました。

今年も火の用心をお願いいたします。



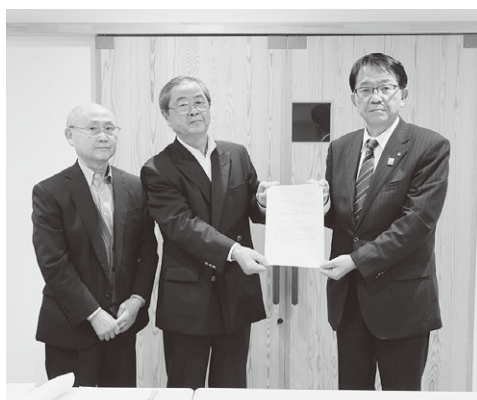
▲消防団活動の安全祈願、町の無火災無災害祈願を行いました

第八次振興計画策定に向けて

振興計画審議会・
専門部会 開催

「第1回只見町振興計画審議会」が1月14日に開催され、会長に只見町区長連絡協議会長の小沼一弘氏、副会長に前只見町商工会長の川原田紹二氏が選任されました。その後、渡部町長から小沼会長に町第八次振興計画に係る諮問書が手渡されました。

また、「第1回只見町振興計画策定推進本部専門部会」が1月24日に開催され、5つの専門部会に分かれ、基本構想における各分野の施策の大綱や、前期5ヶ年の基本計画の設定に向けた課題の確認等が行われました。令和8年4月からの施行に向け、今後数回の専門部会や審議会等を行います。



▲諮問書を受け取る小沼会長(中)、川原田副会長(左)

任期満了に伴い選任

只見町選挙管理委員会を
新たに任命

只見町選挙管理委員の任期満了に伴い、新たに委員が任命されました。委員長に目黒芳美さんが選任され、職務代理者に渡部純子さんが選任されました。任期は令和6年12月26日から令和10年12月25日の4年間で、その期間に行われる選挙が公正に進められているかを監視します。



▲渡部純子さん



▲目黒芳美さん



▲五十嵐利明さん



▲吉津秀一さん

全国中学生人権 作文コンテスト

只見中から生徒4人が受賞



▲受賞した皆さん

「第43回全国中学生人権作文コンテスト」において、只見中学校の生徒4人が優秀作品に選ばれた他、多くの生徒がコンクールに応募したことから人権思想の普及高揚に繋がるとして只見中学校に感謝状が贈られました。

○受賞生徒

若松協議会子ども人権委員会委員長賞

鈴木 雛乃（3年）

若松協議会奨励賞 横田 結心（2年）

菅家 一晟（1年）

長谷部七歌（1年）

魚沼市の小中学生が只見町と交流

魚沼市教育振興会「只見町交流事業」実施

魚沼市教育振興会は、JR只見線を活用し魚沼市内の小中学生が只見町と交流する「只見町交流事業」を12月26日に実施し、小中学生10人と引率の先生3人が只見町を訪問しました。

初めに町教育委員会との懇談会が行われ、生徒たちから只見町に対する印象などが伝えられた他、只見町との交流の記念品の目録が贈られました。

懇談会後は、奥会津学習センターや只見高校、只見町インフォメーションセンターを訪問し、只見町との交流を深めたり、両市町の良さを確認したりしました。



▲記念品の目録を手渡す生徒

おめでとうございます

菅家カツヨさん 百歳賀寿

菅家カツヨさん（黒谷）が百歳を迎えられ、百歳高齢者知事賀寿の伝達式が1月8日に自宅で行われました。

伝達式では賀寿状や木杯といった記念品などの他、ご家族から花束が贈られました。

菅家カツヨさんは、今もテレビを見たり新聞を読んだりしているそうで、長生きの秘訣は「のんびりとくらすこと、嫌いなものなく何でも食べること」と話しました。これからも長生きしてください。



▲菅家カツヨさんご家族で記念撮影

スキー場で新年を楽しむ

只見スキー場新年歓迎イベント



▲雪中宝ひろいに参加した子どもたち

只見スキー場は、1月1日、2日に新年歓迎イベントを開催しました。

1日に行われた「雪中宝ひろい」では、イベントを楽しみにしていた親子など約80人が参加しました。

「雪中宝ひろい」は、賞品と引き換えられるくじが入ったケースを雪の中から探し出すもので、スタートの合図とともに参加者が雪の中に駆け出しました。参加者らは深い雪に苦戦しながらも、笑顔でお宝（ケース）を探しました。

また、「おしるこの振る舞い」も行われ、参加者や来場者は身も心も温まる元旦を過ごしました。

まちづくりに 次世代の視点を

只見高校 只見町に政策提言

只見高校3年生による政策提言の発表が1月14日に只見公民館で行われ、町職員や町議会議員、関係者らに向けて、提言内容の説明をしました。

生徒たちは、只見高校で行われたグループワークで町職員から町の取組みや町が抱える問題、課題について話を聞き、高校生の視点からどのように対応、解決するかを考え、「総合的な探究の時間」の集大成として、第八次振興計画策定に向けた提言を行いました。

生徒からは、雪を活用したデータセンターや、かじご焼きによる広葉樹の活用などが挙げられました。



▲提言内容を説明する生徒たち

五穀豊穡、無病息災を祈る

かるがもクラブ

団子さしを行いました

今年度8回目のかるがもクラブは、1月10日に行われ、3組の親子が参加しました。

親子の触れ合い遊びでスキンシップをとった後、会津地方の伝統行事である「団子さし」が行われ、民生児童委員の皆さんに準備していただいたお団子や飾りを、皆で仲良くミズノキにさしました。



▲上手に飾り付けをしました

郷土の味を伝える

食生活改善推進員会「ニシン漬け」を行う



▲大きな容器にニシンを漬け込む様子

只見町食生活改善推進員会は、1月6日に「ニシン漬け」の漬け込みを行いました。今回は約40キロのニシンを3時間かけて調理しました。

「ニシン漬け」は、一説によると新鮮な魚を手に入れにくい会津地域でも魚料理を食べられるように、麴や山椒などでニシンを1ヶ月程度漬け込み、保存性を高めるために作られたものと言われています。

今回漬け込んだ「ニシン漬け」は、只見ふるさとの雪まつり会場に並べられ、来場された方は郷土の味を楽しみました。



▲漬け込み準備をする食生活改善推進員会の皆さん



楽しく健康に長生きする

ブナりんポイント50ポイント達成

渡部シヅコさん、山村和子さん、吉津敬子さんが「ブナりん健康ポイント制度」で50ポイントを達成しました。

「ブナりん健康ポイント制度」は介護予防教室や健康講座、各種検診、サロンなどに参加することでポイントをもらうことができ、ポイント数に応じて健康グッズや只見町商品券などと交換できる仕組みとなっています。



▲ブナりんポイント50ポイントを達成した渡部シヅコさん、山村和子さん、吉津敬子さん（左から）

郷土料理の美味しさを感じる

只見中「郷土料理教室」開催



▲▼ 笹巻の包み方を教わる生徒たち



只見町食生活改善推進員を講師に、只見中学校1年生を対象とした「郷土料理教室」が開かれ、「笹巻」と「ざく煮」の調理実習を行いました。

現在では町内に住んでいても郷土料理を作る機会や食べる機会が少なくなっており、生徒たちははじめて作る郷土料理に試行錯誤を重ね、楽しみながら調理を行いました。

生徒たちは調理した郷土料理を実食し、おいしさを噛みしめました。



▲ 出来上がった「ざく煮」の味を確かめる生徒たち

次世代へつなげる農業への取り組みが評価

新国農園「全国優良経営体表彰」受賞

農林水産省と全国担い手育成総合支援協議会が共催する「令和6年度全国優良経営体表彰」において、株式会社新国農園が「【経営改善部門】全国担い手育成総合支援協議会会長賞」を受賞しました。

今回の表彰では、豪雪地帯の只見町で通年雇用を行う上で大きな課題であった冬期間の仕事を確保するために米の製粉及び加工に取り組んでいること、地域の小中学校と高校の農業体験の受け入れ、農業理解を深める活動を行っていることなどが評価されました。

代表取締役の新國真也さんは「雇用創出しながら、町民の一員として町の発展の一助を担っていきたい」と今後に向けた意気込みを話しました。



▲ 役場へ受賞報告に訪れた新國夫妻



只見短歌会 令和七年一月詠草

目黒 富子
忘れしは大事に至るも俟有りしなれど気付けるは倖として

関谷登美子
種々雑多あれもこれもと心しつ時の流れの早さと思ふ

立花 奏音
手に負へぬ息子^このイヤイヤも人生の刹那と見れば愛しく思ふ

新国由紀子
子を持たぬ卒寿過ぎたる我が従姉私の彼よとみどり児あやす

渡部ヨリ子
朝陽浴び三日月残る雪景色今日は晴れかと窓より眺む

只見俳句会 一月定例会

都
去年今年エプロンのまま通しけり
子供等は中覗き見るお年玉

味代子
ウカウカと暦はどうに冬初め
空っ風すべる竿竹刻む音

一恵
書の話して時忘る大晦日
着膨れてカメラ構える只見線

礼
天よりも真白き大地年新た
静かさやブーツの沈む雪の道

一穂
病める目に朝の光や雪明かり
曾孫来て炬燵替りの寢床かな

修一
除雪者のエンジン音や雪の量
大寒や起きる起きるの繰り返し

信
豪雪のふるさと憂う朝かな
箱根路に母校の名なし新年会

睦子
みかん剥くふるさと遠くなりけり
寒卵孫が食べて笑顔かな

Information

今月のお知らせ

試験

令和7年度国家公務員 「国税専門官採用試験」

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリテイあふれる国税専門官を募集しています。

【受験資格】

- 次のいずれかに該当する者
- ①平成7年4月2日から平成16年4月1日生まれの人
 - ②平成16年4月2日以降生まれの人で次に掲げる者
- ・大学を卒業した者及び令和8年3月までに大学を卒業する見込みの人
 - ・人事院が前項と同等の資格があると認める者

電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課		
町民税務係		☎82-5110
生活安全係		☎82-5100
保健福祉課		
保健係		☎84-7005
福祉係		
成年後見制度利用促進室		☎84-7010
農林建設課		
農林係		☎82-5230
建設係		☎82-5270
薪エネルギー推進室		☎82-5230
交流推進課		
観光係	商工労働係	☎82-5240
移住交流係		
ユネスコエコパーク推進係		
(ただみ・ブナと川のミュージアム内)		☎82-5963
会計室		☎82-5120
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見公民館		☎82-2141
朝日公民館		☎84-2111
明和公民館		☎86-2111

お知らせ

国立県宮宮城障害者職業能力 開発校 令和7年度受講生募集

国立県宮宮城障害者職業能力開発校では、次のとおり受講生を募集します。

当校は、障害者を対象に職業訓練を実施している公共の能力開発校です。

【募集科名】

オフィス実務科

【募集定員】

10人

【訓練期間】

令和7年6月3日(火)～
10月17日(金)まで

【募集期間】

令和7年2月28日(金)～
4月22日(火)

【選考日】

令和7年5月14日(水)

【選考場所】

宮城県仙台市青葉区台原5丁目15
1 宮城障害者職業能力開発校

【募集対象】

就職に向け職業訓練を希望する身体障害者手帳所持者

【その他】

費用、応募方法などの詳細は、ホームページ (<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/miyashou/>) をご覧ください。寮を希望の方には、選考日に入寮審査も併せて実施します。

【問合せ】

国立県宮
宮城障害者職業能力開発校
☎022-2333-3124
FAX: 022-2333-3125
E-mail: syokn@pref.miyagi.lg.jp

税 今月の納期

2月25日までに
納めましょう

- 水道使用料(4期)
- 農集排使用料(2月分)



ただみに来た人に 聞いてみた

只見在住5年目

お ち
越智 めぐみ さん

ただみに来たきっかけ

を聞いてみた

もともと兵庫県の山間地域で塾講師
していましたが、生徒の減少に伴い閉
校に。学びたい意欲はあるのに地域的
な状況等で十分に学べない子どもたち
がいるという教育格差を感じ、そのよ
うな状況の子どもたちに、学びの機会
をつくりたいと考えるようになりまし
た。そんな中、公営塾の存在を知り調
べていく中で、只見町を知りました。
只見町を検索してみたところ、美しい
なと思ったんです。こういう場所で生
活をしたら心が癒されるだろうなと思
い只見町の地域おこし協力隊に応募し
ました。

ただみでやってきたこと

を聞いてみた

公営塾の講師として採用されたの
で、まずは高校に向き先生方から、
子どもと関わる立場として困っている
ことや、手が届かない所などの聞き取
りを行い、仕組みを整えました。高校
と連携できるような信頼関係を築きな
がら、目の前の生徒に何ができるかを
考え、その上で山村教育留學生の募集
活動にも関わっていました。そのよう
に向き合っていく中で、只見町の山村
教育留學生は他地域と比べ、地域体験

を気軽にできる機会が少ないことに気
が付いたんです。そこからは、森林の
分校ふざわで勉強しながら自然を体験
できる勉強合宿を企画したり、町で活
躍している人に話を聞く機会を設けた
りしながら、公営塾としての在り方を
広げていきました。現在は教育委員会
で山村教育留學制度の情報発信や奥会
津学習センターでの生活サポートなど
に関わっています。

ただみで感じたこと

を聞いてみた

只見の人たちは外から来た人をして
も気にかけてくれて、いろいろな場所
に連れ出してくれるんです。また、只
見町は伝統文化が現代に強く根付いた
地域です。只見ならではのことを楽し
んだら、貴重な経験ができるだろうと
思い只見に残ることを決めました。

越智さんのお話をもっと詳しく知
りたい、他の移住者の話をもっと聞
きたい方は、パソコンやスマホのプ
ラウザアプリから「只見町 移住体
験談」で検索してください！



町HP
移住体験談

3月のイベント情報

9日 朝日のいいもの
集めちゃった市

時間…10時
場所…朝日公民館
問合せ…朝日公民館

☎0241-84-2111

9日 明和公民館まつり

時間…9時
場所…明和公民館
問合せ…明和公民館

☎0241-86-2111

9日 ただみスノースポーツ
フェスティバル 要申込

時間…8時40分
場所…亀岡スポーツパーク内
その他…(前夜祭) 8日 19時
問合せ…NPO法人

☎0241-86-2671

16日 只見公民館まつり

時間…10時
場所…只見公民館
問合せ…只見公民館

☎0241-82-2141

町民の消息

(12月26日～1月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

いしかわ ふう か
市川 楓華 (女/康介・葵) 蒲 生
いしかわ ふう が
市川 楓賀 (男/康介・葵) 蒲 生

■おくやみ申し上げます

佐藤 サト 100歳 只見
五十嵐 拓 88歳 黒谷
舟木 久子 98歳 小林
佐藤 康女 96歳 大倉



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和7年1月1日現在

人 口 3,537 (-17)
男 1,753 (-8)
女 1,784 (-9)
世帯数 1,518 (-7)
高齢化率 48.4%

※高齢化率は、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 2 転出 5 出生 1 死亡 15

▽主張大会で発表をされた皆さん、お疲れ様でした。自分の考えや思いを伝えることは勇気も必要だったかと思えます。きっと多くの方の心に響いたはずですよ。

▽昨年は暖冬で雪まつりの心配をしていたような記憶があるのですが、今年は只見町らしい景色になりました。県外からお越しになる方の中には、その景色が楽しみの一つになっている方もいるそうですね。

▽暦の上では春になりましたが、まだまだ厳しい寒さが続きます。皆さんも体調にお気を付けてください。

(小林)

あとがき

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

明和公民館 図書紹介

明和公民館図書室
☎86-2111

おすすめ新着図書

★架空犯



【著】東野圭吾(幻冬舎)

誰にでも青春があった。被害者にも犯人にも、そして刑事にも一。「まるで幽霊を追いかけているようだ」

燃え落ちた屋敷から見つかったのは、都議会議員と元女優夫婦の遺体だった。

華やかな人生を送ってきた二人に何が起きたのか。そして、犯人は誰を愛し何を貫いたのか。

『白鳥とコウモリ』の世界再び—シリーズ最新作。

★ふしぎなかさやさん



【著】たなか鮎子(講談社)

雨の日、家をとびだしたレミがはいったかさやさんには、ふしぎなかさがいっぱい。あるかさを開いたとたん、大変なことがおきて……

つまんない！と思っていた雨の日におきた、ふしぎな冒険。さまざまな雨の情景をうつしこんだかさと、なぞの猫の秘密。さて、かさやさんといっしょにレミは青空をとりもどせるのでしょうか。

パリ在住の著者が描く、ふしぎでうつくしいファンタジー。

☆明和公民館ではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。



(写真・文 太田祥作)

エゾミドリシジミ

(学名: *Favonius jezoensis*)

【チョウ目シジミチョウ科】



▲ 翅を開いた雄（6月、布沢地区にて撮影）



▲ 川辺で吸水する様子（6月、長浜地区にて撮影）

「ゼフィルス」と呼ばれるシジミチョウの仲間がいます。ゼフィルスは「西風」を意味するギリシャ語で、成虫は年に一度（多くは初夏）だけ出現、繁殖し、卵で越冬するグループです。国内には25種のゼフィルスが知られています。幼虫は、種によって異なる広葉樹の葉を餌とします。身近な種にはアカシジミやミズイロオナガシジミが挙げられ、これらはコナラなどの林で普通に見られます。水辺のハンノキ林ではミドリシジミ、ブナ林ではブナを餌とするフジミドリシジミが生息しています。

今回紹介するエゾミドリシジミは、只見町の山地でよく見られるゼフィルスです。和名に「エゾ」とつくのは最初に北海道札幌市で発見されたためですが、日本の本土部に広く分布します。寒冷地を好み、北日本には多産するものの、西南日本では山地に限って生息します。

エゾミドリシジミはミズナラやコナラを餌としているため、ナラ類の二次林、すなわち、かつての薪炭林にも生息しています。成虫は、活動が活発化するとされる午後3時から5時頃に探せば見つけやすいでしょう。雄の翅の表（内側）は、写真のようにメタリックな青緑色に輝きます。

町内では2010年代以降、ミズナラやコナラが枯れるナラ枯れの被害が蔓延しています。これにより、ナラ類を餌として利用するエゾミドリシジミも影響を受けているかもしれません。今後の個体数の変化が注目されます。

只見町ブナセンターからのお知らせ

下記イベントを開催しております。詳細は只見町ブナセンター（電話 0241-72-8355）までお問い合わせください。

企画展「ブナ林の木に生かされる 雪国のブナを極めるⅡ」

会期：2024年11月9日(土)～2025年6月30日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー